



警告：一般的注意事項

ご自身の身体の安全を守り、装置および作業環境を損傷から保護するために、以下の安全に関するガイドラインに従ってください。



メモ：お使いのプリンタに関する追加の情報は、support.dell.com の「マニュアル」の項で入手できます。

医療環境での使用に関する重要な注意事項： Dell 製品は医療機器ではないため、UL 60601 または IEC 60601（あるいはそれに相当するもの）の対象ではありません。そのため、Dell の製品は、患者から約 6 フィート（1.8 m）以内の距離で使用したり、患者に直接または間接的に接触しないでください。

安全について：一般的注意事項

使用する装置を設定する場合、次の点に注意してください。



メモ：お使いのコンピュータの上にプリンタや他のデバイスを設置する前に、コンピュータマニュアルに記載されている重量制限を参照してください。

- 装置を丈夫な水平面に置いてください。障壁で囲まれたユニットやソファ、敷物、ベッドの上には置かないでください。デバイスの下に紙などを敷かないでください。
- 適切な換気のために必要な空気の流れを確保するため、コンピュータのすべての通気孔のある側面に、少なくとも 10.2 cm のすきまがあるようにします。空気の流れを妨げると、火災の原因になったり、装置に損傷を与えたりする恐れがあります。
- 装置は積み重ねないでください。また、再循環空気または余熱空気の影響を受けるほど近くに装置同士を配置しないでください。
- 暖房器具や熱源の近くにデバイスを置かないでください。
- 極端に高温または低温な環境に装置を置かずに、指定された動作範囲で使用してください。
- 装置の通気孔や開口部にいかなる物質も入れないでください。開口部に異物を押し込むと、内部の部品がショートして、発火や感電の原因となる場合があります。
- 装置のケーブルの上に物を載せないでください。また人が踏んだりつまづいたりする恐れのある位置に設置しないでください。

装置を操作する場合、次の点に注意してください。

- お風呂場や流し、プールの近く、または地下室などのような湿気の多い所で装置を使用しないでください。
- 雷雨の際は、AC 電源を使用する装置を使用しないでください。バッテリー電源を使用するデバイスは、すべてのケーブルが取り外されていれば使用できます。

- お使いのデバイスに内蔵またはオプション（PC カード）のモデムが搭載されている場合は、電話回線を介した落雷による電撃のわずかな危険も避けるため、雷雨時にはモデムケーブルを外してください。
- デバイスにモデムが内蔵されている場合、モデムには、ワイヤサイズが 26 AWG（アメリカ針金ゲージ）以上で、FCC に適合した RJ-11 モジュラープラグの付いているケーブルを使用してください。
- この製品には、CD-ROM、CD-R/W、DVD など内蔵レーザーデバイスを搭載したオプティカルディスクドライブ（ODD）が含まれる場合があります。レーザー放射による被ばくの危険性を防ぐには、いかなる理由でも ODD アセンブリを無効にしたり開いたりしないでください。
これらの ODD は安全基準に準拠しており、US DHHS Standard および IEC/EN60825-1 レーザー安全基準によって Class 1 Laser Products（クラス 1 レーザー製品）に分類されています。これらの ODD デバイスをユーザーが調整することはありません。また、ユーザーによる保守や交換が可能な部品は含まれていません。
- 装置の上に食べ物や液体をこぼさないでください。
- 装置をクリーニングする前に、装置のプラグをコンセントから抜きます。デバイスのクリーニングには、水で湿らせた柔らかい布をお使いください。液体クリーナーやエアゾールクリーナーは使用しないでください。可燃性物質を含んでいる場合があります。
- プリンタディスプレイは、柔らかい清潔な布と水でクリーニングしてください。水で布を湿らせ、それでディスプレイの上から下へ方向に拭いてください。ディスプレイから湿気を素早く取り除き、乾燥させます。
- 長時間湿気にさらすとディスプレイを損傷する恐れがあります。ディスプレイをクリーニングするために、市販の掃除クリーナーを使わないでください。



警告： 外付けまたは内部カバー、ベゼル、フィルターブラケット、ドライブベイカバーなどのカバーが 1 つでも取り外された状態で、装置を操作しないでください。

- 装置が正常に動作しない場合（特に、装置から異常な音や臭いがする場合）、すぐに装置のプラグを抜いて、正規の取扱店またはサービスセンターにご連絡ください。



警告： 火災を防ぐために、ろうそくまたはその他の火炎を常にこの製品から遠ざけてください。

安全について：レーザープリンタ

Dell レーザープリンタは安全基準に準拠しており、US DHHS Standard および IEC/EN60825-1 レーザー安全基準によって Class 1 Laser Products（クラス 1 レーザー製品）に分類されています。プリンタ内部で放射されるレーザーは、保護キャビネットおよび外付けカバーにより完全に閉じ込められているため、レーザービームが、通常のユーザーが操作する段階で漏れることはありません。



警告：ユーザーマニュアルに記載されている内容またはデルが提供する手順とは異なる、コントロール、調整、手順を使用すると、有害な放射線に被ばくする可能性があります。

安全について：デバイス内部の作業をする場合

デルのマニュアルに説明がある場合、またはデルからの指示がある場合を除いて、ご自分で装置の修理を行わないでください。また、各種装置の取り付けに関しては、それぞれの手順に必ず従ってください。

- 感電を防ぐため、雷雨時にはケーブルの接続や取り外し、およびお使いの装置のメンテナンスや再設定作業を行わないでください。
- PC カードは通常の動作でもかなり熱くなることがあります。長時間連続して使用した後に PC カードを取り出す際は、注意してください。

安全について：電源に関する一般的注意事項

お使いの装置を電源に接続する場合は、以下のガイドラインに従ってください。

- 装置をコンセントに接続する前に定格電圧を調べ、電圧および周波数の必要要件が接続する電源と適合していることを確認してください。
- プリンタや接続されているデバイスが、設置場所で使用する AC 電力で作動することを定格ラベルで確認してください。
- 装置の電源ケーブルが損傷した場合は、この電源ケーブルをコンセントに接続しないでください。
- 感電の危険を避けるために、装置の電源ケーブルは、正しい方法でアースされている電源コンセントに接続してください。装置に三芯電源ケーブルが同梱されている場合は、アース機能を迂回するアダプタプラグを使用しないでください。または、プラグやアダプタからアース機能を取り外してください。
- ノルウェーおよびスウェーデンで使用する場合は、この製品に三芯電源ケーブルが同梱されている場合は、電源ケーブルをアースが付いているコンセントのみに接続します。
- 拡張電源ケーブルを使用する場合は、拡張電源ケーブルに接続する装置の定格電流の合計が、拡張ケーブルの許容定格電流を超えないことを確認してください。
- 拡張ケーブルや電源ストリップを使用する必要がある場合は、それらを他の拡張ケーブルや電源ストリップではなく、壁にあるコンセントに接続するようにしてください。延長ケーブルや電源ストリップはアース用プラグを使うよう設計されていなければならず、アースされた壁コンセントに差し込まなければなりません。
- 複数のコンセントがある電源タップを使用する場合、電源ケーブルを電源タップへ接続する際は、特に注意してください。電源タップの中には、不適切なつなぎ方でも差し込めるものがあります。不適切なつなぎ方で電源プラグを挿入すると、感電または発火の危険があるだけでなく、装置に永続的な損傷を与える恐れがあります。電源プラグのアース芯が電源タップのアース接続端子に挿入されていることを確認してください。
- 電気ソケットから装置を外す場合は、ソケットケーブルではなくプラグを持ってください。

お使いの装置が AC アダプタを使用する場合、以下の点に注意してください。

- このデバイスでの使用を認められたデル製の AC アダプタのみをお使いください。他の AC アダプタを使用すると、発火または爆発を引き起こすことがあります。



メモ：お使いのデバイスに対応する適切なアダプタモデルに関する情報は、お使いのシステムの定格ラベルを参照してください。

- AC アダプタをコンピュータの駆動またはバッテリーの充電に使用するときは、机の上や床の上など換気のよい所に AC アダプタを置いてください。
- AC アダプタの冷却を妨げるため、紙やその他のアイテムでカバーしないでください。また、AC アダプタをキャリーケースの中に入れてそのまま使用しないでください。
- AC アダプタは通常のプリンタの動作中でも熱くなることがあります。AC アダプタの使用または使用した直後は、取り扱いにご注意ください。
- アダプタは、緑色のライトが見えるように、床や机の上に置くことをお勧めします。これにより、アダプタが外部の影響により誤って抜けてしまわないよう注意することができます。何らかの理由で緑色のライトが消えた場合は、コンセントから AC 電源コードを 10 秒間外してから、電源ケーブルを再度接続します。

安全について：デバイスが濡れた場合



警告：本項の手順を開始する前に、本書の「安全について：一般的注意事項」を参照してください。



警告：この手順は、必ず安全であることを確認した上で実行してください。プリンタがコンセントに接続されている場合、可能であれば回路ブレーカで AC 電源をオフにしてから、電源ケーブルを抜いてください。濡れたケーブルを通電しているコンセントから抜くときは細心の注意を払ってください。

- AC アダプタをコンセントから取り外し、可能であれば、次にデバイスから AC アダプタを取り外します。
- 接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを外した上で、デバイスから取り外します。
- デルサポートへ問い合わせます。適切な連絡先情報については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照してください。



メモ：本書の「限定保証」および「返品条件」の項を参照するか、モニタまたはコンピュータに同梱の補償範囲に関する別紙の保証文書を参照してください。

安全について：プリンタを落としたり損傷を与えた場合



警告：本項の手順を開始する前に、本書の「安全について：一般的注意事項」および「安全について：電源に関する一般的注意事項」を参照してください。



警告：破損部分から内蔵コンポーネントが見える場合、または煙や異臭を検知した場合は、コンセントからデバイスを取り外し、Dell サポートにご連絡ください。適切な連絡先情報については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照してください。

1. 開いているファイルをすべて保存してから閉じ、実行中のプログラムをすべて終了してから、コンピュータをシャットダウンします。
2. プリンタの電源を切り、プリンタの電源ケーブルを外した上で、コンピュータから取り外します。
3. コンピュータに接続されている外付けデバイスの電源を切り、各外付けデバイスの電源ケーブルを外した上で、コンピュータから取り外します。
4. プリンタを電源ケーブルに接続し、プリンタの電源を入れます。
5. デバイスが起動しない場合、煙や異臭を検知した場合、または破損した装置を識別できない場合は、Dell サポートにご連絡ください。適切な連絡先情報については、『ユーザーズガイド』または『オーナーズマニュアル』を参照してください。

静電気障害への対処



警告：このウェブサイトにある「安全にお使いいただくための注意」の項を参照し、製品別の安全に関する情報に従って、製品を主電源から取り外してください。

静電気（ESD）は、お使いのコンピュータ内部の電子部品を損傷する恐れがあります。特定の状況の下では、ESD は身体や周辺装置などの物体に蓄積され、お使いのコンピュータなどの、別の物体に放電されることがあります。ESD による損傷を防ぐために、メモリーモジュールなどお使いのコンピュータ内部の電子部品に触れる前には、身体から静電気を除去してください。

電子部品に触れる前に、アースされている金属物体（お使いのコンピュータの I/O パネルの、塗装されていない金属面など）に触れることにより、ESD による損傷を防ぐことができます。周辺機器（携帯用パーソナルデジタルアシスタントを含む）をお使いのコンピュータに接続する場合は、その前に必ず、ご自身と周辺機器の静電気を除去してください。また、コンピュータ内部の作業をしている間は、定期的に I/O コネクタに触れ、身体に蓄積された静電気を除去します。

さらに、静電気による損傷を防止するために、以下の手順を実行することもお勧めします。

- 静電気に敏感な部品を出荷用梱包から取り出す場合は、コンピュータに部品を取り付ける用意ができるまでは、その部品を静電気防止梱包材から取り出さないでください。静電気防止パッケージを開梱する直前に、必ず身体から静電気を除去してください。
- 静電気に敏感な部品を運ぶ場合は、最初に静電気防止容器またはパッケージに入れてください。
- 静電気に敏感な部品の取り扱いは、静電気のない場所で行います。可能であれば、静電気防止用のフロアパッドと作業台パッドを使用してください。